キャラクター名
无鳴 渚(ナキナリ ミギワ)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン モルフェウス	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
オプショナル	エンジェルハィロゥ	年齢	18	性別	男
覚醒	死	衝動	嫌悪	初期侵食率	43 %
出自	年下の家族	経験	死と再生	邂逅	いいひと……？

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0		5	7
感覚	3	1	3		5	12
精神	1	0	1		5	7
社会	2	0	0		5	7

HP	41
行動値	31
(非装備時)	31
戦闘移動	36
全力移動	72

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	21	5	射撃	2		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2	2	調達	1	
運転：			芸術：			知識： 医学	2		情報：UGN	1	2
運転：			芸術：			知識 :レネゲイド	2		情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウェポン	白兵	7r+28	6	LV+12		
↑強化素材		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
↑カスタマイズ：ストーン	
賢者の石（思い出の一品）	
↑カスタマイズ：ブランケット	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
賢者の石『銀なる石：木星』	P	N		
覡凪 初音(WH)	P 庇護	N 悔悟		
立科 沙紀(GR)	P 有為	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16	残り財産P： 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
インフィニティウェポン	4	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 〈白兵〉武器作成								
コンセ：ハヌマーン	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果： C値-[LV]（下限7）								
光の舞踏	★	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 〈白兵〉を【感覚】で判定								
一閃	★	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 全力移動後攻撃								
風鳴りの爪	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： ダメージダイス[LV]個まで振り直す								
獅子奮迅	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果： 範囲変更、[LV]回/シナリオ								
怒涛の旋風	4	4	メジャー	-	単体	対決	80	
効果： HP[LV以下任意]点消費、攻撃力+[消費HP*3]								
咎人の剣	2	4	メジャー	-	-	対決	ﾘﾐｯﾄ	
効果： 攻撃力+[LV*5]								
砂塵の帳	★	7	オート	視界	単体	自動	120	
効果： 命中判定を失敗させる、1回/シナリオ								
雑踏の王	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果： 周囲の動きを俯瞰的に把握・予測する								
空の楽器	★	-	メジャー	視界	参照	自動	-	
効果： 任意の音声や音楽を発生させる								
効果：								
効果：								

あるはずのモノがなく、その代わりを与えられた少年。
それは代替としては恐ろしいほど正常に機能しているが、音だけはもう二度と鳴ることはない。

彼が自身の心臓を失ったのは約2年前。“偏喰家(カーディアック・イーター)”と呼ばれるジャームの討伐任務の際。
それはその名の通り、オーヴァードの心臓を喰らうという性質を持ったジャームであり、非常に強力で凶悪な存在だった。
かの任務には多くのUGNの精鋭が集められ、同じくチルドレンであった相棒・覡凪初音と共に任務に臨んだ。
しかし彼らの作戦は失敗に終わる。多大なる被害を出しただけでなく、ジャームには逃げられた。无鳴もまたジャームの餌食となり、覡凪他エージェントが彼を発見した時には既に心臓を食われていた。
通常であれば即死の状況であったが、何故か无鳴は辛うじて生きていた。それがレネゲイドの持つ強力な生命維持機能によるものか、違う何かによるものだったのか。ともかく瀕死の状態でUGNの病院へと運ばれた。
しかし当然ただの医療技術では彼を蘇生させることは難しく、そこで彼を救うべく手を挙げたのは覡凪であった。
彼は賢者の石の適合者であり、所持する賢者の石を差し出すと言った。当時の彼の侵蝕率は戦闘の直後であること、親友が死の間際にいるという環境により上昇し続け、賢者の石の濃度もまた、通常より高まっていた。
无鳴も賢者の石の適合者たり得る素質の持ち主であることも、覡凪が所持する賢者の石との親和性も悪くはなかったことも検査で判明していた。覡凪が適合しなければ次の対象になることも考えられていた程に。当然確実に上手くいくとは考えられない状況ではあったが、命を繋ぐことにも余談を許さぬ状況であったため医師と現場の判断で下された結論は、次の適合者にその石を与えることであった。
そうして无鳴は親友の命を与えられ、今も生きている。新たな力を得て、親友が本当に自分の中にいることを、実感しながら。

チルドレンとなる前、6歳以前の記憶は覚醒のショックで消失しているが、年下のチルドレンを見ると心の奥深くで何かが動く感覚を覚えるため、恐らく弟か妹がいる・いたのではないかと思っている。
2年前まではハヌマーン/モルフェウスのクロスブリードであったが、賢者の石を得てからはエンジェルハィロゥの能力も得ており、本来ではあり得ない『4つ目のシンドローム』を所持している可能性も示唆されている。